

春球大 輝きを放った選手たち

2025 春季球技大会 MVP 特集

サッカー 竹内郁人さん(3C)

ドッジボール 木田彩乃さん(2F)

快適な気候のもと、順延を挟むことなく円滑に実施された春季球技大会。熱い戦いの中で殊に見事な活躍を見せ、MVPに選ばれた6人の選手を取材した。今号では、選手らが語る練習の様子や、MVP獲得の感想などをお届けする。(編集部共同取材)



「他のクラスとも高めあう練習ができました」

サッカーのMVPに選ばれたのは、竹内郁人さん(3C)。竹内さんは、球技大会を振り返って、「昨年優勝できたので今年も優勝できて嬉しいです」と喜びを語った。練習面について、竹内さんは、他のクラスとも全力で高めあう練習ができた振り返る。

優勝につながった作戦について、竹内さんは相手キーパーの得意な所をチーム全員で研究したことだと教えてくれた。一番印象に残った試合は、1Cとの試合だと語る竹内さん。1Cは守備がとてもまいクラスで、前半で1点

を取るも、すぐに取り返されてしまいPK戦になってしまったそうだ。その後苦戦したPK戦で相手キーパーを研究していたおかげで勝つことができたことが一番印象に残っている、と振り返ってくれた。

秋球大への意気込みを聞くと、竹内さんは「総合優勝したいです」と力強く語る。クラスの仲間に向けて、「秋の球大でも優勝できるように楽しく頑張りたいです」と笑顔でメッセージを送った。(月)



「みんながいなかったら優勝できなかったです」

ドッジボールのMVPに選ばれたのは木田彩乃さん(2F)。「チームの皆がいなかったら優勝出来なかったです」と笑顔で語ってくれた。2Fにはもう1人MVP候補がいて、どちらが選ばれても不思議ではなかったという木田さん。

自身は制限対象で、試合直前の練習ではクラスメイトにどう避けさせるかを重視して対戦相手のパスや当て方の特色を探ることを意識したそう。3Kとのサドンデスでは、相手選手を当てるのが出来ていない状況下で内野の選手が2人当たってしまうという窮地に立たされ、ヒヤリとした試合を振り返った。

秋季大会にむけて「クラスの皆で対戦相手の特色を研究しながら戦っていきたい。まだトーナメントで当たっていないクラスとも当たってみたい」と前向きな木田さんは、チームメンバーへ「皆が避けてくれないと勝てませんでした」と感謝の言葉を述べた。(藤)

男子バスケ 菅野友佑さん(3L)

女子バスケ 山田早穂子さん(3I)



「多くの応援が励みになりました」

男子バスケットボールMVPに輝いたのは、菅野友佑さん(3L)。球大では1年生の秋からずっとバスケットボールに出場していたが昨年は3位だったそうで、やっと優勝できてとてもうれしいと喜びを露わにした。

特に印象に残った場面について菅野さんは、1Fとの対戦で残り4秒から相手のファールによるフリースローを決めて逆転できたシーンを挙げる。勝負強さを出せてうれしかった、とこのシーンを振り返る菅野さん。自身は中学時代、バスケ部に所属していて、チームも多くのバスケットボール経験者で構成されていたため、様々な攻撃ができたという。そんな中でも3Lはスリーポイントシュートとリバウンドを積極的にとること、そして身長を生かしたディフェンスを意識していたと語る。

決勝の観戦に訪れたたくさんの人が自分の名前を呼ぶ声は励みになったと振り返り、クラスメイトに向けて「みんなで取れた優勝だからみんなに感謝したいです」と話してくれた。(梅)



「全員が活躍してくれたのおかげです」

女子バスケットボールを優勝へ導き、MVPに輝いた山田早穂子さん(3I)。優勝した時の感想について、試合の中の緊張した雰囲気とは違い、和やかな雰囲気嬉しかったと語った。練習時には共に出場するメンバーが上手いことに衝撃を受けたそう。一番印象に残った試合は、1Bとの対戦だという。その試合では、第3ピリオドにて同点で終了し、フリースロー対決となった。互いになかなか入らなかったが、未経験者のメンバーがシュートを決めて決着がつき、接戦になったそう。

MVPを目指してはなかったので、驚きとともに嬉しくありがたいと語る山田さん。秋大会へ向けて、出るのかわからないが出るならまたみんなと協力して優勝を目指したいと意気込んだ。チームのみんなに対しては、「全員が活躍してくれたのおかげで勝てたので、とても感謝しています」と言葉を送った。(蒲)

男子バレー 山本光博さん(3B)

女子バレー 松田佳菜さん(3J)

「クラスの練習を通してそれぞれの得意なところや苦手なところを改善し伸ばすことを意識しました」。こう話してくれたのは男子バレーボールMVPに選ばれた山本光博さん(3B)。

決勝の第2セット目、デュースが続く場面が印象的だったという。互いに一步も引かない戦いのなかで、チームの声掛けや雰囲気を高めることに取り組んだという山本さん。「相手にアドバンテージが付いたとき、『決めないと』と思いました」と話してくれた。

また、クラスの練習について「セッターができる人を2、3人つくって攻撃の形を形成し、いいプレーにつながるようにレシーブにこだわりました」と話してくれた。敵の特性に合わせて対策を立ててプレーをしていたという山本さん。

最後まで応援してくれたクラスメイトに対して「秋は総合優勝を取りましょう!!」と笑顔でメッセージを送った。(燕)



「秋こそ総合優勝!」



「また MVP を取りたいです」

今回チームを優勝に導き、見事MVPとなった松田佳菜さん(3J)。優勝した時は、驚きの気持ちでいっぱいだったという。チームで経験者が自分1人という状況で、松田さん達は「拾ってつなぐ」という作戦を立てた。ボールは無理に強く打とうとせず、全部返すことを意識したそう。作戦のため、1か月も前から練習を始めていたという。昼休み練習はコート外の争いになることもあり、確保のために2時間目の休み時間から弁当を食べたこともあったそう。

松田さんは、印象に残った試合について、「やっぱり、3Lとの試合ですね」と語った。決勝の1Gとの試合も、絶対に負けられない試合だと思っていたと教えてくれた。

チームの仲間には、一緒に頑張ってくれてありがとうと感謝の気持ちを伝えたいそう。球技大会が終わった今も昼休みに仲間とバレーをやっているという松田さん。秋季球技大会へ向けて、「また MVP を取りたいです」と希望溢れる様子で話してくれた。(水)

2025年 春季大会

		男子				女子				得点	
		サッカー	バレー	バスケ	ドッジ	サッカー	バレー	バスケ	ドッジ		
1A	3A	◎	○	○	○	○	○	○	○	4	28
1B	3B	○	○	○	○	○	○	○	○	14	31
1C	3C	○	○	○	○	○	○	○	○	6	30
1D	3D	○	○	○	○	○	○	○	○	6	26
1E	3E	○	○	○	○	○	○	○	○	18	12
1F	3F	○	○	○	○	○	○	○	○	21	12
1G	3G	○	○	○	○	○	○	○	○	24	21
1H	3H	○	○	○	○	○	○	○	○	15	30
1I	3I	○	○	○	○	○	○	○	○	6	23
1J	3J	○	○	○	○	○	○	○	○	16	35
1K	3K	○	○	○	○	○	○	○	○	6	19
1L	3L	○	○	○	○	○	○	○	○	8	33
1M	3M	○	○	○	○	○	○	○	○	2	

		男子				女子				得点	
		サッカー	バレー	バスケ	ドッジ	サッカー	バレー	バスケ	ドッジ		
2A	2A	○	○	○	○	○	○	○	○	14	
2B	2B	○	○	○	○	○	○	○	○	18	
2C	2C	○	○	○	○	○	○	○	○	29	
2D	2D	○	○	○	○	○	○	○	○	7	
2E	2E	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
2F	2F	○	○	○	○	○	○	○	○	24	
2G	2G	○	○	○	○	○	○	○	○	26	
2H	2H	○	○	○	○	○	○	○	○	13	
2I	2I	○	○	○	○	○	○	○	○	16	
2J	2J	○	○	○	○	○	○	○	○	16	
2K	2K	○	○	○	○	○	○	○	○	5	
2L	2L	○	○	○	○	○	○	○	○	24	
2M	2M	○	○	○	○	○	○	○	○	2	

【得点表について】

- 本勝利は3点「○」
- 敗者復活戦、3位決定戦の勝利は2点「▲」
- ABブロック決勝の勝利は4点「◎」